

# 竹富町教委 IT支援センターに移転 来月4日から業務開始

竹富町は老朽化している現庁舎2階にある教育委員会を、石垣市IT事業支援センターに移転することを24日までに決めた。12月1日から3日までに引越し作業を済ませて、同月4日から業務



竹富町教育委員会が石垣市IT支援センターに移転する。24日、同センター

開始するスケジュール。12月1日付けで契約する。移転場所はIT支援センター3階にあるオペレーションルームの325・17平方メートルと会議室50・24平方メートルの2部屋を使う。オペレーションルーム内には13・79平方

竹富町教育委員会はこれまで石垣市教育委員会内から、旧離島橋付近のビル、現庁舎と移転しており、今回で3度目の移転となる。また、IT支援センター移転後は町教委の代表電話も設置される。移転

後の電話番号は次の通り。▽教育委員会総務課0980・87・6255 (代表)▽教育課0980・87・6256▽社会文化課0980・87・6257

## 白保公民館 リゾート計画に「不同意」 臨時総会 当面は手続き静観

白保公民館(迎里和八館長)は24日夜、同集落北側で計画されているリゾートホテル建設計画への対応を決める臨時総会を開催し、挙手による採択の結果、ほぼ全会一致で計画への不同意を決議した。今後の方針について、迎里館長は「当面は企業側の法的手続きを静観するしかない」と述べ、先に署名など

の反対運動を開始した。同問題連絡協議会(新里昌央会長)とは一線を画す考えを示した。総会では同意、不同意各1人の意見発表を求めた後、挙手による採択を実施。同意の意見を述べる人はなく、連絡協の新里会長は不同意の立場から「定期総会よりも多岐ようの参加者が、住民の意

思を示している。白保に大きなホテルはいらない」と述べた。採択では、参加者の大多数が不同意に挙手。公民館として計画に同意しないことが議決された。

議決後、新里会長から今後の活動方針を問われた迎里館長は「当面は静観するしかない。公民館として協議会の反対運動は見守るべき。観光産業と他産業の連携も必要」と強調。同部会の小渡玲副部長は「中小企業のIT化も進めるべき。人材が不足しており、育成が課題」と述べた。

新たなものづくり専門推進部会の呉屋守章部長は「県外から誘致した企業と県内企業との連携が進んでいない。IOTやAIを活用

した高付加価値化が必要」、同部会の石田達也副部長は「人と人とのつながりが求められる医療や観光などの仕事はなくなるならないとの研究もある」と語った。



取材に対し迎里館長は「新空港建設時のように、村が二分されることを何より危くしている。今総会は行政手続上での不同意を決議しただけであり、公民館として反対運動を行うのであれば、運営審議委員会が再度の臨時総会を経た後になるだろう」と述べ、同計画の住民運動化に強い懸念を示した。

は「新空港建設時のように、村が二分されることを何より危くしている。今総会は行政手続上での不同意を決議しただけであり、公民館として反対運動を行うのであれば、運営審議委員会が再度の臨時総会を経た後になるだろう」と述べ、同計画の住民運動化に強い懸念を示した。

翁長雄志知事 25日 奄美大島へ出張▽奄美・沖縄交流拡大事業キックオフイベント

市長日程

城間幹子那覇市長 25日10時00分 第1回地活協福社まつり▽11時00分 市長来訪▽13時00分 NPO法人エンカレッジ第5回成果発表会▽14時00分 第16回沖縄県私立保育園連盟那覇ブロックまつり▽17時30分 第2回与儀トックリキワまつり▽18時30分 第3回小緑地域大忘年会▽19時30分 那覇市住宅ケアネット大懇親会

# MICE誘致の体制強化を

## 県経済 戦略構想 アジア市場取り込みへ提言

【那覇】県アジア経済戦略構想推進・検証委員会の安里昌利委員長が24日、県庁で翁長雄志知事知事に会い、発展するアジア市場の取り込みに向けた提言書を手渡した。県が早期に取り組みべき事項として、那覇市の物流施設の拡充やMICE(マイス)誘致組織と県庁の体制強化、ITを使った産業活性化を訴えた。

同委員会は「物流・貿易」「観光・MICE」「IT・スマートハブ」新たなものづくりの4部会を設け、有識者や企業経営者がそれぞれ部会で施策をまとめた。提言書では、県が新たに

取り込むべき事項として、那覇軍港の国有地部分の

率1.49倍

で最も多く、同所の比嘉直敏統括職業指導官は「女性は事務職を求めている人が多い。時間帯やシフトの融通を効かせること

那覇市長は「光害」と

認定せしめ、漢